

学 会 記 事

2007年度 第4回理事会 議事録

2007年9月25日

日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2007年9月8日（土）

13：00～14：00

場 所：北海道大学高等教育機能開発総合センター E204室

出席者：木村会長、伊藤副会長、佃副会長、
渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・
上砂・公文・中山・久田・藤本、宮下、
各理事、橋辺（事務局）

欠席理事：狩野・倉本・斎藤（関連行事担当者）
・矢島（関連行事担当者）・向山（関連
行事担当者）

*成立員数（12/17に対し、出席者12名、委
任状5名、理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向
山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

・選挙管理委員会委員の選出：有井聡美，
加藤潔，駒井希充，佐脇貴幸，西村瑞恵
・同志社大教員公募→HP，News誌9号に
掲載

・京大教員公募→メルマガに掲載

<他団体の賞公募など>

・大学婦人協会より、守田科学研究奨励賞
の公募，女性科学者対象，11月30日締め
切り→HP，News誌9号に掲載

・日本鉱物科学会の設立（鉱物学会と岩鉱
学会の合併），総会および記念講演会の
開催，9月22日（東大）

・日産科学賞の公募（生命科学，理学工学
分野で地球環境に係わる基礎研究，新進
気鋭），応募期間9月1日～10月15日，
HP，News誌9号に掲載

・平成20年度笹川科学研究助成の公募，応
募期間10月1日～10月15日，HP，News
誌9号に掲載

<他団体の会合後援など>

・海洋調査技術学会より第19回研究成果発
表会，11月15-16日，の協賛依頼→例年
通り承諾

会員関係（担当理事-中山）

1）入会の承認（正2名）奥池司郎 影
山高史

退会（正1名）白鳥達也

2）8月末日会員数

賛助34，名誉74，正4,426（うち院295），
準39，合計4,573（昨年比 -38）

3）会員名簿2007年版作成，初稿 完成予

定9月末を予定しているが，10月にずれ
込む可能性あり．会員名簿の広告募集，
現在までに15件応募あり．

会計関係（担当理事-向山）

・中越沖地震の被害者および災害救助法適
用地域の会員への会費の減免措置を適用
する件

前例の通り，広報の後に申請を受けた罹
災地在住会員の年会費を減免することと
した

広報委員会（担当理事-倉本）

・メルマガ，HPのリニューアル，年会行
事のプレスリリースについて報告

インターネット運営小委員会（委員長-坂
口有人）

・HPのリニューアルを実行

8月28日（火）：仮HPを理事，ならびに
評議委員に公開

9月7日（金）までにコメントを募る

9月8日（土）：評議委員会，理事会で
新HP公開を報告→坂口委員長出席

9月9日（日）：新HP公開

2. 学術研究部会（部会長-公文，）

行事委員会（斎藤委員長）

・札幌大会，および関連行事，秋田大会の
ことなど

大会会期の決定：2008年9月20日（土），
21（日），22（月）

開催は東北支部で分担して実施予定。

日本鉱物科学会（岩鉱学会，鉱物学会が
合併）と予定する合同開催の詳細は今後。

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

・ドイツSenckenberg Research Inst. &
Natural History Museum（雑誌は交換
中）からアイランドアークの交換申し入
れがあった．編集事務局用の中から送付
することは可能（竹内事務局長）

・日タイ地質学会の覚書の交換

・日韓地質学会の覚書案

日韓の覚え書き案を了承し，調印に向け
た今後のスケジュール等を検討した

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮
下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副
委員長-久田，宮下＝企画担当）

・今月の編集状況（9月4日現在）。

113-8：論説4・口絵1（63ページ，
8/21校了・8/27発送済み）

113-9：論説4・短報1・口絵1（約60
ページ・校正中）

・2007年度投稿論文総数57編〔論説38（和

文37+欧文1），総説7（和文7），短報
10（和文9 欧文11），ノート2（和文
2）〕口絵7（和文5 欧文2）〕※うち
41件が電子投稿

投稿数昨年比 -17 査読中 54編
受理済み 6編

・地学教育関連の特集号投稿・査読中。

・一部任期切れの委員（企画部会を含む）
について交代および継続を確認中。

・地質学雑誌の新カテゴリー「報告」を立
ち上げた。

意義のあるデータの公表を目的として，
修士論文等を地質学会が一定の品質保証
を行う形で地質学雑誌に掲載する「報告
（Report）：最大6p.」を導入することと
し，これに係る必要とな諸規定・規約等
の変更した。

Island arc編集委員会（担当理事-Wallis，
事務局長-竹内主史・角替敏昭）

1. 16-4号に来年の600ページから30p（また
は23p）を前借りする必要が生じている。
W-B社と相談する。

2. 17-1予定の特集（6編）が厳しくなって
きた．幸い手持ち一般原稿があるので，特
集不調の場合は充当する。

編集委員会より任期満了に伴う両編集委
員長の後任委員長が紹介され，了承した。
今後，来年1月1日付けの出版社との契約
に向けた準備を進めることとした。

2008年1月1日からのIsland Arc誌編集
委員長：井龍会員，前川会員

Island arc連絡調整委員会（委員長 会田，
担当理事 Wallis）

企画出版委員会（担当理事 藤本）

・国立公園地質リーフレット箱根火山リー
フレットは，子供向けおよび一般向けと
も完成．子供向けは神奈川県博他5施設
で，火山地質図は神奈川県博で委託販売
を開始した。

・リーフレット新企画案「屋久島」

本企画を基本的に承認し，詳細の策定に
進むこととした

4. 普及教育事業部会（部会長-矢島，藤本）

5. その他

6. 選挙管理委員会（委員長 加藤潔）

・互選により，加藤潔会員を委員長に選出
した。

・2008年度の会長，副会長，監事，代議員
選挙，理事選挙，評議員選挙を実施のた
め，News 8月号に告示の予告を掲載し
た。

・8月30日に委員会を開催．News 9月号

に掲載する選挙告示について検討

- ・選挙立候補届けの受け入れ方法について、選挙委員会の決定を確認し、電子メールによる推薦・立候補も受け入れることとした

○審議事項

- 1) 各賞選考手続きの変更について(宮下)
前期各賞選考委員長からの変更意見について、今評議員会に具体的に提案する理事会案としては

- ・優秀講演賞を優秀ポスター賞と名称変更する

- ・各賞の推薦の締め切り時期を現行の1月末から約一月早め12月25日〆切とする
- との2件をし、地質学会賞、棚山・小澤賞、国際賞の推薦審査方式については、評議員会での議論を受けて進めていただくこととした

- 2) 地震防災立地の議論のフォローアップ案(伊藤・藤本)

札幌大会での緊急集会を受けた地震防災立地に向けた学会の活動として、11月を目標に新潟において現地見学を含めたシンポジウムを予定する。構造地質専門部会の主催とし、理事会は、伊藤副会長・藤本理事の担当でサポートを進めることとした。

- 3) 学会就業規則整備委員会設立について(渡部)

人事院勧告において給与アップを含めた回答が行われることとなり、地質学会では雇用条件等の再確認を行い、給与法改定に準じた待遇改善を着実に実施することとした。そのためには、法的に必要な雇用契約項目等を学会として正式に確認・再検討し、公務員準拠ならびにそれに対応する条件整備、年ごとの改訂システムの設定などを本事業年度中に構築する必要があるため、以下の諮問作業委員会を設置し、上記の観点から早急に現状調査を実施することとし、委員3名を選任した。

名称：学会就業規則整備委員会

任務：日本地質学会の職員就業規則を見直し、必要な整備を行う

位置づけ：理事会の下

諮問：学会長

答申：学会長宛

任期：平成20年3月31日

委員構成：国立大学法人、公的機関、民間に所属し、日本地質学会の執行に携わった経験のあるものから以下の3名を理事会にて選任した。

立石 雅昭 委員、佐々木和彦 委員、湯浅 真人 委員

- 4) 新HPシステム作成契約で保持すべき学会秘密について(上砂)

HPシステム作成に際し、受託業者に渡される学会資料の秘密保持に係り、提出資料のうち保持すべき秘密とする項目をとり

まとめ、秘密保持契約に反映させることとした。